

第73回例会
交流から共生へ

—外国籍町民3名の北海道秩父別町でなまら考えた—
ちっぶべつちょう

■ 話題提供 ■

式部絢子さん

(北海道大学／秩父別町多文化交流コーディネーター)
聞き手：古屋憲章さん (ALCE 企画委員)

■ 日時 ■

2021年5月29日 (土) 16:00～18:00

オンライン開催 (Zoom) ※参加費無料、要事前申込

お申込みはこちらから→ <https://tinyurl.com/yg8tk5p5>

※非会員の方もご参加になれます。



北海道と言えば…？ みなさんはどんな想像をするでしょうか。

カニ・ジンギスカン・ソフトクリーム・大自然…といったところでしょうか。魅力あふれる北海道は世界中からたくさんの観光客が来てくれます。つまり「外国人＝観光客」という認識でした。しかし、今では北海道の産業を支える人材としても注目され始めています。このような社会的状況の変化は、「お客さんから、一緒に暮らす人へ」と、認識の変化をもたらします。それは、楽しく国際交流をしている場合ではないという気付きにもつながります。交流のための交流から、町作り・共生のための交流へと目的が発展していった秩父別町の事例をお話しするとともに、参加者のみなさんと「地域活性化のために言語教育だから活かせると思うこと」を考えたいと思います。

- ・地域で日本語教育活動をしている人/したい人
- ・地域と留学生や生活者をつないでいる人/つなぎたい人
- ・町内会で活動している人 などなど… ご参加お待ちしております！

なお、当日の話題提供は、式部さんの話に古屋さんが時々質問を挟んだりする対談形式で進行します。



お問い合わせ

言語文化教育研究学会企画委員会 Email:project@alce.jp

